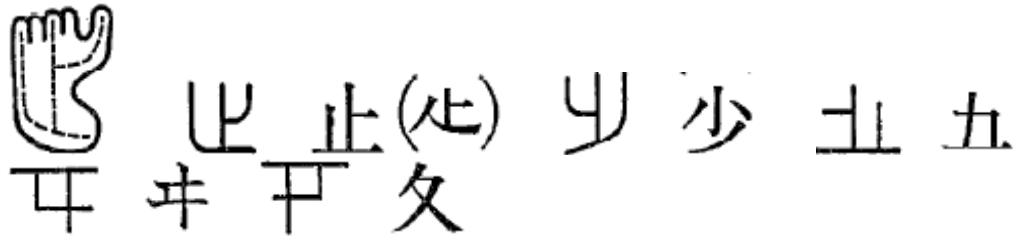


## ■足に関する部首



上にあげた五つの部首は、皆、足の裏の象形です。

止 止(止)

止は、右足の裏を象ったもので、ここが地面にぴったりと着いて“立ちどまる”というので、“とどまる”意味を表わしたものです。

正は、一と止との会意字で、“人の止まるべき線”を表わしています。“守るべき基準”のことです。

歴は、麻と足の意味の止との形声字で、“足のあゆみ”が本義です。転じて“時の歩み”の意味に使われます。遊歴。歴史。

足は、〇(ひざ小僧の象形)から足の裏(止)までの部分を言います。“あし”ですが、ひざから上は含まないのが本義です。

促は、人と足との会意形声字で、“近づく”“迫る”という意味の字です。「催促」「督促」「促進」など“うながす”意味に使われます。

歩は、右足の止と、左足の止の変形少との会意字で、“あるく”ことを表わしています。

走は、“はしる”形を表わした土(土)と止との会意字です。土だけでは“つち”と同じ字形なので、区別するために、足の部首を加えたものです。

発は興で、左右の両足をそろえて立つ形です。これから前進することを意味しています。前へ足を踏み出せば「発」となり、上へ足を踏み出せば「登」となります。

発の音は八で、八には、“開く”意味があります。開発。発展。旧字は發で“弓を發射する”のが本義です。

登の音は豆ですが、「登山」「登城」の場合はトと発音します。

𠂔 𠂔

舞は舞で、両足を左右にやや開いてそろえた形です。舞を舞う時の基本の足の型です。部首としては「舞脚」と呼ばれていますが、正に意味もその通りです。

舞は、舞と舞との形声字です。

無は、**灠**と灠(燃える火)との形声字。物が焼けて“なくなる”という意味の字です。

## 𠂔 𠂕 𠂖 𠂗

**𠂕**は、舛が左右なのに対して、上下に足が並んだ形です。また、歩と反対に、下向きの形ですので、“下る”意味を表わしています。

**降**は、崖の意味の卩と𠂕との会意字ですので、“崖を下る”のが本義です。今は、広く“下る”の意味に用いられ、“雨の下る”こと、つまり“ふる”意味にも使われます。音は𠂕。降雨。降雪。

**各**は、足を下向きにして“下る”意味を表わす𠂕と口との形声字です。発音、本義共に𠂕と同じですが、今は、カクと発音され、“おのおの”という意味に使われています。

**落**は、“草の葉が下降する”という意味で、灠と各との会意字です。音は各が変化して洛になりました。落葉。落選。

**絡**は、“下に落ちた糸がからまる”という意味の字です。音は落です。手から落ちてつながってはいますので、“続く”“つなぐ”意味にもなります。連絡。

**路**は、下降の意味の各と足との会意形声字で、“下り坂のみち”のことです。「坂路」が本義に適った用法です。音は各がロに変わりました。

**踏**は、𠂕の意味の沓と足との会意形声字で、“靴をトントンとふみ鳴らす”ことです。音は沓。舞踏。雑踏(人込み)。

**距**は、巨大の意味の巨と足との会意形声字で、“大足で歩けばたちまちにへだたる”という意味で、“へだたる”ことを表わした字です。音は巨。距離。

踊・躍・躁・踰・踐は、第一部にあります。

**趣**は、“物を取ろうと、急ぎ走る”という意味の字で、取と走との会意形声字です。“おもむく”こと。転じて、“味わい”“様子”という意味の“おもむき”。趣味。

**赴**は、“トの結果を知らせようと、急ぎ走る”という意味の字で、トと走との会意形声字です。趣と同じく“おもむく”が本義。赴任。

**越**は、武器の意味の𠂕(ト)と走との会意形声字で、音は越です。武器を執って敵に向かう時には、障碍を乗り越えて進みます。それで、

“こえる”という意味を表わしました。越境。超越。

𠂔 行 𠂔 彳 彳 彳 彳 彳 彳

行は、十字路の象形です。人の歩行するところですから、“いく”という意味を表わしました。指事字です。

術は、行と朮との形声字です。朮(みち)が術の本義です。道は、目的地に行くのによらなければならぬものです。だから、何事でも、行なうのに最も良い方法を道、または術と言うのです。奇術。剣術(道)。柔術(道)。

街は、行と圭との形声字です。圭(みち)が街の本義です。“大通り”のことです。街道。街路樹。街燈。市街。

衝は、“重要な街道”という意味で、重と行との会意形声字です。音は重。転じて“重要な場所”という意味に使います。要衝。また衝(道路)は重要な場所を“つらぬいて”通っていますので、“突きぬける”“突きあたる”という使い方も生まれました。衝突。

𠂔 彳

彳は、行の右半分を省略した形で、形の上で人扁ニンベンに似ているため、「行人扁ギョウニンベン」と呼ばれますが、意味用法は、行と同じです。

征は、“行って不正を正す”という意味の会意形声字です。音は正セイ。征伐。遠征。

後コウは、彳と幺と夂の会意形声字です。反対向きの足の形である夂が、“うしろ”へ行くことを表わしています。

徒は、土トと土トの変形したもので、土と土との会意形声字です。“土の上を歩いて行く”のが本義です。転じて、馬や駕に乗らない“身分の低い士”を言います。徒歩。徒行。徒卒。

従は、従の略。従は辵セの変形で、从と辵との会意字です。从は、人が人に“付きしたがう”ことを表わした会意字で、従の本字です。従は新しく作られたものです。

循は、巡めぐるや順したがうの意味の盾と彳との会意形声字です。「循守」は、“従順”の意味、「循環ジュンカン」は、“巡回”の意味です。

得は、得の略です。“道路(彳)で、お金(貝)を手(寸)に入れる”という意味の字です。拾得。得をする。

**待**は、役所の意味の寺と彳との会意字で、“役所に行きまたされる”ことを表わした字です。音は寺のなま<sup>ジ</sup>った<sup>チ</sup>tiが変化したタイ。

𠂔 𠂔

**辺**は、邊の略字。“国の果て”“他の果て”という意味の字です。それは、“刀を持って行かなければ危険な「辺鄙」な土地”という意味で、刀と辵とで表わしています。辺境。

**迷**は、八方に分かれる道路の象形である𠂔と辵との会意字。どの道を行ったらよいか、“まよう”という意味の字です。音は米<sup>メイ</sup>。迷路。迷惑。迷信。

**速**は、木を一本一本運ぶよりも、束にして運んだ方が“はやい”という意味の字で、束と辵との会意形声字。敏速。速達。

**連**は、車があとからあとからと続いて行くという意味の会意字。今の東京の道路の様子にぴったりの字です。連続。連想。

**逸**は、兔<sup>うさぎ</sup>と辵との会意字。兔は逃げ隠れのすばやい動物なので、“すばやい”“逃げる”“隠れる”などの意味に使われます。逸足。逸話。

**運**は、軍用車の意味の軍と辵との会意形声字で、音は軍<sup>グン</sup>の変化したウン。武器糧食を“はこぶ”のが本義です。運送。

「軍」は、軍用車を取り巻く形の字で、“軍隊”を表わしたものです。

**道**は、首<sup>あたま</sup>と辵との会意字で、“大切な道”“本道”という意味の字です。

**逆**は、人の逆さになった形の𠂔と辵との会意字で、“反対の方向に行く”のが本義です。逆行。逆流。逆算。転じて、“そむく”こと。反逆。逆賊。

**辻**は、わが国で作った漢字です。平坦の意味の一と辵とで、“すべる”意味を表わした会意字です。

辻は、“十字路”のことで、“つじ”と読みます。

込は、“入りこむ”という意味の字です。

「辻・辻・込」など、わが国で作られた漢字には音がありません。

辵 辵

**延**は、延<sup>エイ</sup>とノとの会意形声字です。延は足の意味の止と辵とで“道を行く”意味。ノは曳(引きずる)のノです。延は、“道のりが引きの

ばされる2という意味です。それは“遠くまで行く”意味にもなりますので、「遠」と同音同義になります、音は<sup>エイ</sup>ノが変化してエン。延長。延期。

曳は、申と<sup>ノ</sup>との会意形声字です。申は伸の本字で、“物を両手で引きのばす”意味の<sup>日</sup>と<sup>丨</sup>との会意字です(𠂔)。曳は、その引き伸ばしている手をわきから“引っばる”ことです。曳航(船を引っばる)。

廻は、まわる意味の<sup>囗</sup>に<sup>廴</sup>を加えて、“まわり道をする”意味を表わした字。今では回が廻の意味も兼ねています。巡廻(回)。

建は、筆の本字の<sup>聿</sup>と<sup>廴</sup>との会意形声字で、“筆を動かし進める”“文章を書く”のが本義の字です。「建策」「建議」は、文書をもって意見を進言することです。転じて、“計画を立てる”意味から、“家を立てる”ことにまで使われます。建国。建築。音は、<sup>エン</sup>廴が変化してケン。

廷は、<sup>テ</sup>壬と<sup>廴</sup>との会意形声字です。壬は<sup>イ</sup>と<sup>土</sup>との会意字で、人が直立するという意味の字で、“役人”を表わした字です。廷は、“役人”の働きまわる役所という意味の字です。

庭は、役人の集合する“役所のホール”が本義の字で、<sup>广</sup>(建物)と<sup>廷</sup>との会意字です。転じて、“広場”の意味になりましたが、「日本庭

園」の庭とは、内容が大変に異なっています。